

巻頭特集

和牛日本一! 鹿児島 黒牛の 魅力



「和牛日本一」 に輝く

令和4年10月、全国の和牛の王座を決定する「第12回全国和牛能力共進会」が鹿児島県で開催されました。

鹿児島県は、県内各地から予選を勝ち抜いた24頭を出品し、全9部門のうち6部門で1位を獲得するとともに、「種牛の部」では第4区(繁殖雌牛群)が内閣総理大臣賞を受賞し、「和牛日本一」の栄冠に輝きました。さらに、「肉牛の部」でも最優秀枝肉賞を受賞しました。

今回の成績は、前回大会から5年間、和牛日本一を獲得するため、生産者をはじめ、関係者の皆さんが一丸となって「チーム鹿児島」として対策に取り組んだ成果です。

南

北600キロメートルの雄大な自然のもとで、おいしさや安心・安全にこだわって、一頭一頭丹精込めて育てられる鹿児島黒牛。昨年、本県で開催された全国和牛能力共進会では、前回大会に引き続き和牛日本一を獲得し、鹿児島黒牛のブランドを確固たるものになりました。鹿児島が誇る鹿児島黒牛の魅力に迫ります。

全国和牛能力共進会とは…

5年に一度開催される和牛の祭典で、全国の優秀な和牛を一堂に集めて改良の成果を競います。第12回大会では、牛の姿・形を審査する「種牛の部」、肉質等を審査する「肉牛の部」、牛の姿・形と大会に向けた取り組みを総合評価する「高校及び農業大学校の部」に分かれて審査が行われました。

大盛り上がりの 第12回大会

今大会では、過去最多となる41道府県から438頭の和牛が出品され、各道府県が「和牛日本一」をかけた熱き戦いを繰り広げました。閉会式には、岸田総理も御臨席され、内閣総理大臣賞を自ら授与されました。

また、種牛の部会場の催事エリアには、全国のブランド牛の試食や鹿児島黒牛のバーベキュー、和牛について楽しく学べる体験型展示、県内各地の特産品販売などのさまざまなお催しが設置され、多くの人でにぎわいました。

